



活魚料理・九州郷土料理提供店舗

○本社所在地：熊本県熊本市西区春日7丁目19番34号

○事業概要：九州・中国地方を中心に和風居酒屋及び活魚料理店チェーンを展開（「さかな市場」「十徳や」「魚粋」「デリズ」等）

○常時使用する従業員数：460名（2025年3月期）

○現在の売上高：20億円（2025年3月期）

○法人番号：9140001032499

○Web：https://www.jandj-food.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
三浦 孝幸

飲食を通じて地域社会に貢献する（企業理念・ミッション）

株式会社十徳は、九州各地の生産者と一緒になって「安心で安全な」そして「うまい！」食材をつくり、その風土にねざした食文化を地域のお客様と共に守り育ててまいりました。設立から15年、17店舗・売上高20億円まで成長した今、次なるステージとして売上高100億円を目指します。店舗を九州から全国へ広げ、より多くのお客様に九州のうまいものをお届けし、生産者の販路拡大、従業員の成長機会の創出、地域経済の活性化に貢献してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2040年の売上高100億円達成に向け、九州・中国地方でのドミナント戦略の深耕と、四国・関西圏への段階的エリア拡大により、年率約11%の成長を目指す。現在の17店舗体制から65店舗規模へ拡大し、セントラルキッチンの構築による品質均一化とコスト最適化を両立させる。

課題

- ・店長・エリアマネージャー等の中核人材の確保・育成
- ・セントラルキッチン建設や新規出店に伴う設備投資資金の確保
- ・多店舗経営に対応する経営管理体制・DXの整備
- ・九州外展開時の食材安定調達と物流体制の構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①店舗展開の加速：九州未出店県への展開と九州全県網羅を進め、広島・山口を足掛かりに中国・四国・関西圏へ段階的に拡大。年間3～5店舗の新規出店を継続する。
- ②セントラルキッチンの新設：熊本または福岡に食材加工拠点を建設し、品質均一化・食材ロス削減・店舗業務効率化を実現する。
- ③M&Aによるエリア拡大：新規進出エリアでは既存飲食企業の買収により迅速な展開を図る。
- ④DX投資：予約・注文・会計のデジタル化、POSデータ活用による需要予測、多店舗統合管理システムの導入を推進する。

実施体制

- ・代表取締役社長 三浦孝幸が全社戦略を統括し、出店計画・投資判断・100億宣言の推進を主導
- ・商品開発室によるメニュー開発と九州食材の調達戦略の強化
- ・事業拡大に合わせて経営企画・店舗開発・人事の各専門部門を順次設置し、組織体制を強化
- ・顧問税理士・会計士、取引金融機関、中小機構等の外部支援機関との連携

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標と課題

<成長戦略の3つの柱>

【既存店の売上拡大】

既存17店舗の客単価・客数向上施策を推進し、既存店売上高を現在の10億円から50億円へ成長させる。メニューの高付加価値化、インバウンド対応、DXによる顧客体験の向上が主な施策。

【新規出店による売上拡大】

九州全県への展開完了後、中国・四国・関西圏へ段階的にエリアを拡大。年間3~5店舗の出店を継続し、2040年までに65店舗体制を構築する。M&Aも活用し、進出先での迅速な展開を図る。

【その他事業の拡大】

セントラルキッチン構築を起点に、デリバリー事業（デリズ）の拡大、物販・EC事業（九州食材のオンライン販売）、転貸事業の拡大など、店舗売上以外の収益基盤を多角的に育成する。



<店舗展開計画>

2025年（現在）：17店舗

- 福岡・熊本・長崎・大分・山口・広島

2028年（25店舗）：

- 九州全県への展開完了（宮崎・鹿児島・佐賀に進出）
- セントラルキッチン稼働開始

2033年（40店舗）：

- 中国・四国エリアへ本格進出
- M&Aによるグループ拡大開始

2037年（55店舗）：

- 関西圏への進出
- 第2セントラルキッチン検討

2040年（65店舗）：売上高100億円達成

- 九州～関西圏をカバーする広域チェーンの確立